

令和7年度臨床医学物理研究会のご案内

テーマ：知をつなぎ、医療を拓く

主催：臨床医学物理研究会

このたび、令和7年度臨床医学物理研究会を下記のとおり開催致します。

今回のテーマは「知をつなぎ、医療を拓く」です。昨今の高度化・多様化が進む放射線医療の現場では、最先端技術が臨床導入され、これらを支える医学物理士の役割がますます重要になっています。さらには、日常臨床に加え、機器開発、核医学、公的評価・審査業務など活躍の場は広がる一方、このような知識の共有や議論の機会は限られています。放射線医療の未来を切り拓くには、人材育成とモダリティを超えた知の連携が不可欠です。本研究会では、最前線でご活躍されている計9名の専門家を講師にお招きし、専門領域の垣根を越えた知見の融合により、新たな展望が拓けるよう以下の内容を中心にご講演いただきます。

- ・ 外部照射光子線治療/小線源治療/粒子線治療で役立つ知見
- ・ 核医学分野における医学物理士の役割
- ・ 医学物理士が知っておくべき医療機器開発

日々の臨床業務に追われる今だからこそ、立ち止まり、“明日の医学物理”を見つめ直す貴重な機会となることを願っております。是非、多くの皆様にご参加いただき、放射線医療の未来を切り拓く、熱量あふれる時間を皆様と共有し、意見を交換し合える場にできますと幸いです。

開催概要

1. 日 時 : 2026年2月28日(土) 10:30~16:35 (10:00より受付開始)
2. 場 所 : 国立がん研究センター中央病院 新研究棟1F セミナールーム
3. 定 員 : 200名(先着順)
4. 参加費 : 2,000円(学生無料※)
※常勤勤務していない学生に限ります。当日学生証をお持ちください。
5. 対象者 : 医学物理士および医学物理士を目指している方
放射線治療に関わる医師・診療放射線技師・企業の方・学生の方等
6. 申込期間 : 2026年1月5日(月)～2月23日(火) 23:59
お申し込みは[こちら](#)か、右のQRコードよりお申し込みください。
7. 単 位 : なし



お問い合わせ先：令和7年度臨床医学物理研究会事務局（担当：国立がん研究センター中央病院 千葉）

E-mail : tachiba(at)ncc.go.jp （注）メール送付の際は(at)を@に変えてください。

プログラム

10:30～	開会の挨拶	臨床医学物理研究会 副代表 東京医科大学 黒岡 将彦 先生
第 1 部 外照射光子線治療の知をつなぐ		座長 聖路加国際病院 山内遼平 先生
10:35～	Portal dosimetry	東京都済生会中央病院
(25 分+質疑 5 分)	キーワード：EPID、Prediction アルゴリズム、コミッションニング	鈴木 祐也 先生
11:05～	脳定位（仮）	国立がん研究センター中央病院
(25 分+質疑 5 分)	キーワード：	中山 広貴 先生
休憩（10 分）		
第 2 部 小線源治療の知をつなぐ		座長 順天堂大学 飯島康太郎 先生
11:45～	IGBT の温故知新	国立がん研究センター中央病院
(25 分+質疑 5 分)	キーワード：RALS, IGBT, Mixed Reality	千葉 貴仁 先生
12:15～	密封小線源を用いた Accelerated Partial Breast Irradiation	東京科学大学病院
(25 分+質疑 5 分)	キーワード：RALS, APBI, SAVI	野武 亮一 先生
休憩+弁当配布（15 分）		
ランチョンセミナー（共催：株式会社ハイメディック）		座長 国立がん研究センター中央病院 中村 哲志 先生
13:00～	BNCT で放射線治療を切り拓く	国立がん研究センター中央病院
(35 分+質疑 5 分)		竹森 望弘 先生
休憩（10 分）		
第 3 部 粒子線治療の知をつなぐ		座長 昭和医科大学 宮浦 和徳 先生
13:50～	マルチイオン治療のための治療計画	量子科学技術研究開発機構
(25 分+質疑 5 分)	キーワード：重粒子線治療, LET, 生物学的効果	武居 秀行 先生
14:20～	マルチイオン治療のための必要技術	量子科学技術研究開発機構
(25 分+質疑 5 分)	キーワード：重粒子線治療, 加速器, 照射装置, 安全性解析	田中 創大 先生
14:50～	放射線と腫瘍微小環境の相互作用：エクソソームを介した放射線応答機構	国立がん研究センター中央病院
(25 分+質疑 5 分)	キーワード：腫瘍微小環境, エクソソーム, 細胞間コミュニケーション, 放射線応答	中岡 藍 先生
休憩（10 分）		
第 4 部 新たな放射線医療を切り拓く		座長 国立がん研究センター中央病院 千葉 貴仁 先生
15:30～	核医学 Dosimetry の現状と医学物理士の役割	国立がん研究センター中央病院
(25 分+質疑 5 分)	キーワード：核医学治療, Dosimetry, 医学物理士	中市 徹 先生
16:00～	プログラム医療機器の薬事規制と審査と考え方	医薬品医療機器総合機構
(25 分+質疑 5 分)	キーワード：医療機器, SaMD, 薬機法, 承認審査	江面 崇智 先生

16:30～16:35 閉会の挨拶

臨床医学物理研究会 理事
国立がん研究センター中央病院
中村 哲志 先生

17：00～ 情報交換会（築地周辺を予定）

*都合により、演題名・講演者・講演順・講演時間等、変更になる場合があります。